

にてとろ、かづらと云伊勢白子にてくつばと云土佐にてふのりかづらといふ又さねかづらの實則藥物の五味子也、相州底倉邊にて五九の伊と云、

〔和漢三才圖會九十六〕五味子 莖蒨 玄及 會及 和名佐禰加豆良略中

按五味子、朝鮮之産最良、中華次之、倭亦次之、日本處處多有之、而紀州田邊之産良、藝州廣島、及日向

丹波之産次之、其梗乾者形色似甘草、浸水取粘汁、塗髮甚佳、俗呼名美軟石名義未詳

〔物類品隲三〕五味子 二種アリ

北五味子 朝鮮種、享保中種ヲ傳テ、今官園ニ植、葉杏葉ニ似テ蔓延ス、實南五味子ト大體相似タ

リ、駿河産朝鮮種ト異ナルコトナシ、享保中台命アリテ藥ヲ探シムル時、始テ此物アルコトヲ知

至、今每歲是ヲ官ニ獻ズ、

南五味子 和名サネカツラ、處處ニ多シ、

〔重修本草綱目啓蒙十四〕五味子 一名嗽神耕 紅内消醫學正傳何首烏紫荊 味爾雅 六亭

劑藥譜、輟耕錄ニ 紅内藤證治

南北ノ異アリ、朝鮮ノ産ヲ遼五味子トシ、又北五味子ト呼ブ、朝鮮ハ唐山ノ北ニ當ル故ナリ、享保

年中朝鮮ヨリ種ヲ渡ス、今人間ニ多ク栽ユ、葉杏葉ニ似タリ、又木天蓼タビニ似テ鋸齒粗ク皮アリ、

春舊藤ヨリ芽ヲ出シ、四五葉一所ニ攢リ生ズ、其苞内葉下ニ花ヲ出ス、嫩藤長ズレバ葉互生ス、三

四月花ヲ開ク、白色ニシテ微綠ヲ帶ブ、形荷花ニ似テ至テ小ク、小錢ノ大サニシテ八九瓣、質厚ク

シテカ、ユ、中ニ小紅毬アリ、瓣落レバ其毬漸ク大ニシテ長ク、下垂スルコト一二寸、圓實多クツ

ヅル、生ハ青ク熟ハ赤ク、大サ南燭子ナシテノ如シ、秋後葉落チ藤枯レズ、黃赤色ニシテ微黒ヲ帶ブ、此實

久ヲ經レバ色黒ク五味備ルコト、此書ニ云所ノ如シ、此ノ種駿州ニ自生アリ、一種マツフサト云

アリ、一名ヤハラヅル、ウシブドウ、マツブドウ、モチカヅラ、泉州ヤハラカヅラ、同上ワタカヅラ、野